

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第255回

漫画：ドラゴンボール

孫悟空の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年6月7日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

落ちこぼれだって必死に努力すれば
エリートを超えることがあるかもよ。

孫 悟空は鳥山明の漫画『ドラゴンボール』およびそれを原作とするアニメ『ドラゴンボール』『ドラゴンボールZ』『ドラゴンボールGT』『ドラゴンボール改』『ドラゴンボール超』に登場する架空のキャラクター。本編の主人公。原作・アニメともに第1話から最終話まで登場。アニメ・各種ゲームでの声優は野沢雅子。

Column

背中を押してくれる言葉だと思います。みなさんにもこれまでの人生の中で遭遇した“壁”に対して『自分じゃ無理だ…』と諦めてしまったことが今までにあるという人もいます。私にも同じような経験があります。今になって考えてみれば越えられたかもしれないと思うものも多くありますが、その当時にはどうしても一歩踏み出す勇気が出なかったのだと思います。

今回の言葉の『落ちこぼれ』と『エリート』は、『現在の（力不足な）自分』と『自分よりレベルの高い人（自分にはできないことができる人）』に置き換えることができます。私は綺麗事に聞こえるかもしれませんが、少しだけ他の人よりもレベルアップのスピードが遅いだけで、落ちこぼれというものはないと考えています。そして、『優劣』という考え方そのものが本来は存在しないはずなのに“ものの見方”の問題で優劣があたかも存在してしまっているように見えているのではないかと考えています。

例えば有名大学への進学を目指す理由のひとつが、いわゆる“エリート街道”を歩きたいということでしょう。では、エリートのイメージはどういったものですか？大豪邸に住んで高級レストランで食事をしているような『THE 成功者』といったものではないですか？そんなエリートたちは全員が有名大学の卒業生なのでしょうか。そんなことはないと思います。学歴に関係なく、現在は特に自ら起業して成功したり、YouTuberとして大活躍して人生を謳歌する人も増えています。確率的なことを考えれば違いは出てきますが、チャンスは誰にでも平等にあると思います。

世の中に存在する全ての成功者たちに言えることが『必死に努力した』ことと『最初は全員初心者だった』ということです。落ちこぼれやエリートを表現する上で“才能”というワードが共通して使われると思います。才能は生まれた時点で差があるものではありません。生まれた時は全員“人間（人生）の初心者”です。努力するという才能は、数ある才能の中で最も磨き甲斐のあるものかもしれません。自分磨き、頑張っていますか？